

グレインランバー

施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工・取扱説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工、取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や損傷、ケガにつながる可能性があります。本書にそわず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換・補修は致しかねますので必ず施工前にご確認をお願いします。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



テープ禁止

粘着テープ(セロハンテープ・シール等)を化粧面に貼らないでください。

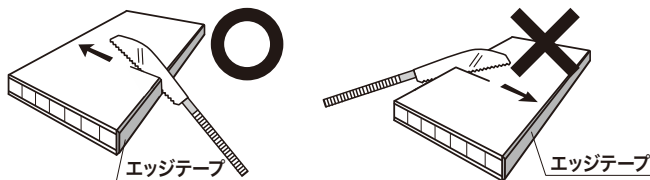


溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

グレインランバーの施工について

- ① 必ずエッジテープ側(前側)からカットしてください。



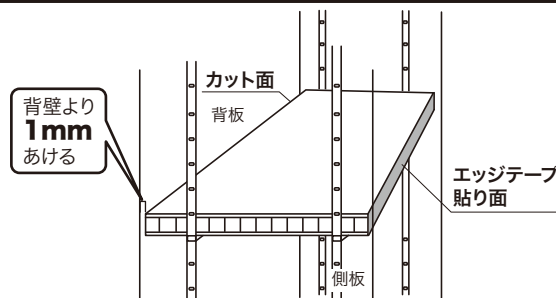
グレインランバーの幅方向をカットする場合、必ずエッジテープのある側からカットを始めてください。反対側からカットすると、エッジテープがはがれるおそれがあります。

- ② クロス貼り後に棚板設置をする場合は、クロスが十分に乾いてから(24時間以上経過後)行なってください。

クロスが十分に乾いていないまま棚板を設置してしまった場合、クロスの損傷や、変色の原因になる可能性があります。

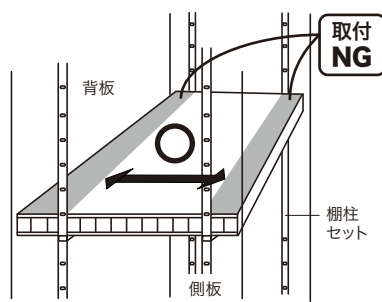
- ③ 可動棚板として施工する場合、背壁面より棚板を1mmあけて設置してください。

- 施工後に、棚板を可動させる場合も同様に設置してください。同様の設置が難しい場合は、別販売のエッジテープもしくは緩衝材(現場調達)を背壁側の棚板木口に取り付けてください。
- 背壁に接した状態で放置すると、環境条件により、棚板跡が残る可能性があります。



ハンガーパイプの取り付けについて

- ハンガーパイプは、弊社パイプセット(上吊タイプ)をご使用ください。
- 35mm厚のグレインランバーには弊社パイプセット(上吊タイプ)を取り付けることはできません。ハンガーパイプを取り付ける際の対応棚板厚等の条件は、ハンガーパイプに同梱の説明書をご確認ください。
- 棚柱セットに設置する場合は、奥行方向の棚柱の間にパイプブラケットを取り付けてください。棚柱より手前側・奥側に取り付けると、棚板が傾き、落下するおそれがあります。
- 電動ドライバー等、トルクの強い工具で施工する場合、ネジ山が損傷しないよう注意してください。ビスの保持力を損なう危険性があります。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この製品の材料は右記の通り自主表示登録を行なっております。

発散等級区分: **F☆☆☆☆**

製品名: **オレフィン化粧ランバー**

製造者: 南海プライウッド株式会社
お問い合わせ先 品質管理チーム
TEL 087-894-8025

(一社)日本建材・住宅設備産業協会表示登録

発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-002704
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	https://www.kensankyo.org/

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

お施主さまへ

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容をご理解のうえ、正しく安全にお使いください。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。

(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどに関わる拡大損害をさす。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次のレベルで説明しています。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「してはいけない」を示します。



「必ず行なっていただくこと」を示します。

注意



● 製品に乗らない。

製品の落下などにより、けが・死亡事故につながるおそれがあります。



● 耐荷重の目安を必ず守る。

※詳しくは下記の **耐荷重の目安値** をご参照ください。

ご使用上のお願い



● 粘着テープ(養生テープ・セロハンテープ・シール等) は貼らない。

表面化粧がはがれるおそれがあります。



● 油やインクの付着に注意する。

溶剤・薬品・油・インクなどが付着した場合はすぐに拭き取ってください。
放置するとシミや変色の原因となります。



● 水濡れに注意する。

製品に直接水をかけたり、濡れた物を置いたりしないでください。表面化粧の剥がれや反りの原因となります。



● 筆記用具を直接使用しない。

表面に跡が付く可能性があります。
必ずデスクマットをご使用ください。

お手入れ



● 日常のお手入れ方法

乾いた柔らかい布で乾拭きする。

● 汚れがひどい場合

中性洗剤を水で薄めたものを布にしみ込ませ、強く絞って拭き取り、良く乾燥させる。



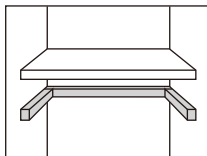
● 換気をする。

収納内部には湿気がこもりがちです。結露やカビの発生原因となりますので、時々内部の収納物を出して、充分な換気を行なってください。

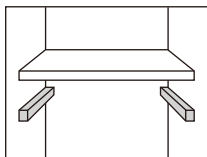
耐荷重の目安値

棚板として使用する場合、以下の数値を目安にして棚板の取り付け方を考慮し、上部に置く収納物を制限してください。

3方受け



2方受け



下記の数値は目安であり保証値ではありません。許容重量を参考にしてそれ以上重い物は収納しないでください。

(単位: kg)

厚さ 奥行(mm)		15mm厚 [芯材]集成材		20mm厚 [芯材]集成材	
		300	450	300	450
間口910mm	3方受	20	25	55	70
	2方受	10	15	25	40
間口1360mm	3方受	15	15	40	40
	2方受			10	20
間口1810mm	3方受			35	20
	2方受				

厚さ 奥行(mm)		35mm厚 [芯材]集成材	
		450	600
間口910mm	3方受	200	200
	2方受	180	200
間口1300mm	3方受	200	200
	2方受	100	180
間口1810mm	3方受	120	180
	2方受	60	90
間口2700mm	3方受	60	60
	2方受		

注意

- 躯体強度、取り付け方法によっては性能を保持できない場合があります。
- 間口寸法によってはたわみ量が大きくなり、実用に適さない場合があります。
- 耐荷重の目安値の記載が無いサイズの棚板(表中の斜線部分以上の棚板)については強度が確保できません。必ず方立、もしくは束を施工してご使用ください。
- 棚板の変形を防止するためにも荷重はできるだけ分散するようお願いいたします。
- 耐荷重の目安値は、長期荷重試験においてJIS規格の範囲内で使用できる荷重値に安全率を加味した算出値です。

- 棚板の取り付けに弊社製品「棚柱セット」各種を使用する際は、「棚柱セット」の耐荷重の目安値を確認のうえ、より小さい値を耐荷重の目安値としてご認識ください。
※棚柱セットでの棚板取り付けは「2方受」の耐荷重の目安値に準じます。
- 上記は静荷重での数値です。カウンターや棚板として使用する場合、上記の耐荷重の目安値を参考にして取り付け方を考慮し、補強が必要な箇所にはアングルやカウンター支柱等の適性部材を用い、確実に強度を高めてください。また、上部に置く収納物も制限してください。
- 本製品へパイプを取り付ける場合の耐荷重の目安値は、棚板の上部に置く物と、パイプに吊るす物の合計の値となります。